

NEWS RELEASE

近畿文化会は、今年も有名な文化財を訪ねて

著名な講師による講演と現地見学を行う「入門臨地講座」を開催します。

近鉄の文化事業「近畿文化会」は、今年も、有名な寺社や史跡を訪ねて歴史・文化財研究の第一線で活躍する講師の講演と現地見学を行う「入門臨地講座」を開催します。第1回は4月18日（土）に難波宮跡をテーマに開催し、第2回は5月16日（土）に春日大社の建築をテーマに開催いたします。各回とも午前中は講師の講演を聴いて基礎的な知識を学んだ後、午後は講師の解説を受けながら現地を見学して知識を体感します。

「近畿文化会」は、専門の知識をもった講師の解説で寺社や史跡を訪ねる見学会「臨地講座」を毎月開催していますが、中でも「入門臨地講座」は、特に有名な寺社や史跡を訪ねて、やさしい解説で文化財の良さを体感できる初心者向けの講座で、今年で8年目の開催となります。近畿文化会会員以外に一般の方にも毎回多数参加いただき好評を博しています。

「近畿文化会」は、沿線に数多くの文化財を持つ近畿日本鉄道が1949年に「文化財愛護の心を養い、歴史的知識を高める」ことを目的に設立しました。近鉄沿線を中心に寺社や史跡などを紹介する月刊文化冊子『近畿文化』の発行と「臨地講座」の開催を軸に、文化財の魅力を発信する活動を行っています。

なお、「入門臨地講座」の開催日・行先等の詳細は別紙のとおりです。



難波宮跡公園



春日大社

別紙

1. 本年（2026年）に開催する「入門臨地講座」の概要

（1）第1回 古代の宮殿遺跡・難波宮跡を歩く

開催日：4月18日（土）

講師：大阪歴史博物館学芸員 田中 裕子 氏

集合：大阪歴史博物館講堂 10時10分（Osaka Metro 谷町四丁目駅より徒歩）

行程：大阪歴史博物館講堂[講師講演]

難波宮跡（内裏）、法円坂遺跡（復元倉庫）、大阪歴史博物館展示室

代金：一般 3,600円、近畿文化会会員 2,600円

定員：約120名（事前申込制）

（2）第2回 春日大社 神社建築の構造と形式

開催日：5月16日（土）

講師：大阪電気通信大学教授 矢ヶ崎 善太郎 氏

集合：春日大社「感謝・共生の館」 10時（近鉄奈良駅よりバス）

行程：春日大社「感謝・共生の館」[講師講演]

春日大社（御本殿[回廊内]、若宮、国宝殿、万葉植物園など）

代金：一般 4,800円、近畿文化会会員 3,800円

定員：約120名（事前申込制）

※止むを得ず講座を中止・延期または講座内容、定員などを変更させていただく場合がございます。

※本年秋頃にも入門臨地講座を企画しております。開催時期が近づきましたら近畿文化会ホームページなどでお知らせいたします。

2. 参加申込み方法

近畿文化会事務局まで電話、FAXまたはメールにてお申込みください。

定員に達し次第受付を終了いたします。

電話：06-6775-3686

申込受付時間 9時10分～18時（土・日・祝日および5月1日は休み）

FAX：06-6775-3669

24時間受付

メール：kinbun@rw.kintetsu.co.jp

24時間受付

○電話でお申し込みの場合は、下記①～⑦を電話口でお伝えください。

FAXまたはメールでお申し込みの場合は、下記①～⑧を記載してください。

① 郵便番号 ② 住所 ③ 氏名 ④ 生年（西暦） ⑤ 性別

⑥ 連絡先（携帯電話番号など） ⑦ 参加を希望される講座名、講座日

⑧ 会員番号（会員の場合のみ）

○代金は、受付後、講座当日の1か月前までに、郵便局備付の払込取扱票を使用して、お振込みください。

（通信欄に、参加される講座名と講座日を記載）

郵便振替口座「00960-2-304143 近畿文化会」

（正式加入者名は、「近鉄グループホールディングス株式会社 近畿文化会」です）

（注意事項）

- * 代金には拝観料、お供え等が含まれています。
- * 昼食は各自自由昼食（各自負担）です。
- * 参加は小学校5年生以上に限ります。また、中学生以下は保護者の同伴が必要です。
- * お客様の都合で参加を取り消した場合、返金はありません。
- * 行程中を含む移動にかかる交通費は、各自負担となります。

以 上

参考1

近年（2021～2025 年）の「入門臨地講座」開催実績 ※講師の肩書は開催当時のもの

年	講座名	講師
2021	仏像入門 東寺のみほとけたち	奈良大学教授 関根 俊一
	東大寺の伽藍に日本建築史の軌跡をたどる	大阪電気通信大学教授 矢ヶ崎 善太郎
	大阪城 一三層重ねの歴史をたどる	大阪歴史博物館長 大澤 研一
2022	興福寺の仏像	帝塚山大学講師 戸花 亜利州
	近代建築をとおしてみる大阪・中之島 ー水都の美意識ー	京都華頂大学教授 川島 智生
	仏像入門 宇治平等院のみほとけたち	帝塚山大学客員教授・名誉教授 関根 俊一
	世界遺産 古市古墳群を学ぶ	大阪府文化財センター 森本 徹
2023	伊勢神宮外宮	皇學館大学名誉教授 岡田 登
	世界遺産元興寺とならまち界隈	元興寺文化財研究所主任研究員 服部 光真
	世界遺産百舌鳥古墳群を知ろう	堺市博物館学芸員 白神 典之
	薬師寺のみほとけをめぐる	帝塚山大学客員教授・名誉教授 関根 俊一
2024	飛鳥宮跡周辺を歩く	奈良大学教授 相原 嘉之
	唐招提寺のみほとけ	和歌山県立博物館長 関根 俊一
	東大寺のみほとけをめぐる	龍谷大学教授 神田 雅章
	伊勢神宮内宮	皇學館大学名誉教授 岡田 登
2025	藤原宮跡を歩く	奈良大学教授 相原 嘉之
	平等院鳳凰堂を信仰の建築として読む	京都大学大学院教授 富島 義幸
	佐紀古墳群をめぐる	上牧町教育委員会文化財専門員 関川 尚功
	東寺のみほとけをめぐる	奈良大学教授 米屋 優

参考2

近畿文化会の概要

1. 沿 革

昭和6年(1931)

古文化研究団体「大和國史會」設立

(この間、近畿日本鉄道の前身会社、大阪電気軌道や関西急行鉄道の援助・協力を受けて会誌の発行、講座・講演会の開催等を行う。)

昭和24年(1949)

「大和國史會」を母体に、近畿日本鉄道の文化事業を包含して、「文化財愛護の心を養い、歴史的知識を高める」ことを目的に、「近畿文化会」が発足

文化冊子『近畿文化通信』創刊(第1号、10月1日発行)

昭和31年(1956)

『近畿文化通信』を『近畿文化』に改称

平成31年(2019)4月

第1回「入門臨地講座」(東大寺)開催、会員以外の方も「臨地講座」参加可に

2. 活動内容(「入門臨地講座」を除く)

- ・主に近鉄沿線の寺社や史跡などを紹介する月刊の冊子『近畿文化』の発行
- ・史跡、寺社などの文化財を訪ねる「臨地講座」(講師の案内による現地見学会)を原則月2回開催
- ・「歴史文化セミナー」の企画(毎月1回開催、主催は近鉄文化サロン阿倍野)
- ・その他講演会、現地見学会等の企画、開催

3. 会 員 数

約800名

4. 年 会 費

普通会員 3,000円 家族会員 1,500円

※家族会員は普通会員と同居の高校生以上の方に限ります。

※年会費は入会日より1年間有効です。(随時入会できます)

家族会員の方の有効期限は、普通会員の方と同じになります。

5. 入会方法

郵便局の「払込取扱票」に住所、氏名(フリガナ)、電話番号、性別、生年を明記のうえ、下記の口座まで年会費を郵便局でお振込みください。

口座番号 00960-2-304143

加入者名 近畿文化会

(正式加入者名は「近鉄グループホールディングス株式会社 近畿文化会」)

6. お問合せ

近畿文化会事務局まで。

電 話 : 06-6775-3686

9時10分~18時

(土・日・祝日および5月1日は休み)



月刊冊子『近畿文化』

以 上